

2024年7月30日
ミサワホーム株式会社
ウイズガーデン株式会社

東京都が取り組む100年先を見据えたみどりと生きるまちづくり

「東京グリーンビズ」のコラボレーションパートナーに登録

- 東京都の取り組みに賛同し、「東京グリーンビズ」コラボレーションパートナーに登録
- 2018年には東京都杉並区の「ミサワパーク東京」が「江戸のみどり登録緑地」の優良緑地に登録
- 各地域での環境保全活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献



ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 作尾徹也）とミサワホームグループのウイズガーデン株式会社（代表取締役社長執行役員 田中広志）は、東京都が取り組む100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」のコラボレーションパートナーに登録されました。

東京都は2023年7月に、人々の生活にゆとりと潤いを与える緑の価値を一層高め、都民とともに未来に継承していくため、100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を始動。これまでの緑の取り組みに加え、新たな施策も構築し、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」観点から取り組みを強化。さらに取り組みの輪を広げ、「自然と調和した持続可能な都市」へと進化させることを目指しています。

ミサワホームは東京都内に本社、支社を有する企業として、「東京グリーンビズ」の取り組みに賛同し、緑豊かな都市形成に寄与する活動を続けています。2018年には、東京都杉並区にある住まいづくりの体験型施設「ミサワパーク東京」が「江戸のみどり登録緑地」^{※1}の優良緑地に登録されました。住宅地の庭を通じて植物や生きもの的大切さやつながりを体感できるデザイン手法「GDD（グリーン・ドット・デザイン）」を採用し、地域の植生との連続性や生物多様性に配慮したエクステリア設計を行いました。「GDD」はミサワホームが手がけるさまざまな住宅地でも採用しており、住宅地や庭の緑が周辺の緑とつながることで、より広範囲での生物多様性保全や質の向上に寄与しています。

なお、「ミサワパーク東京」の外構・造園工事はウイズガーデン株式会社が設計・施工をおこなっています。



在来種を中心とした植栽（左）と水浴びをするエナガ（右）
いずれも「ミサワパーク東京」にて

江戸のみどり登録緑地（優良緑地）
シンボルマーク

2020年には、第3回グリーンインフラ大賞（主催 グリーンインフラ官民連携プラットフォーム）の防災・減災部門において、2021年7月にミサワパーク東京に建設した持続可能な未来につながるコンセプト住宅「グリーン・インフラストラクチャー・モデル」が優秀賞※2を受賞しました。建設地の地域課題に、集中豪雨による浸水被害の増加や非常時の水資源調達などが挙げられるなか、大屋根による雨水・太陽光など自然資源の収集やパッシブクーリングアイテム、貯水・止水機能をもつ水盤などグリーンインフラを生かした防災・減災設備を建築と一体的にデザイン。家族の暮らしや健康とあわせて、環境のサステナビリティを実現することを目的にしています。



江戸のみどり登録緑地(優良緑地)に登録されている
「ミサワパーク東京」

ミサワホームでは環境への取り組みとして1997年に「新・環境宣言」を公表しました。以降、その宣言に基づき、さまざまな環境活動を展開しています。社会生活の基本単位である住まいを提供する企業として、地球環境保全を視野に入れた「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築を目指した取り組みを積極的に推進してきました。加えて、安全・快適な住まいと良好な住環境の形成による持続可能な社会の実現に努めることを理念として活動をしてまいりました。これからも「東京グリーンビズ」をはじめとする環境保全活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

※1：「江戸のみどり登録緑地」は、東京都が在来種を積極的に植栽している民間建築物等の敷地内の緑地を登録・公表することで、東京の生物多様性保全に寄与する在来種植栽を普及拡大することを目的に実施されています。

※2：持続可能な未来につながるコンセプト住宅「グリーン・インフラストラクチャー・モデル」第3回グリーンインフラ大賞 優秀賞を受賞
2023年3月6日ニュースリリース (https://www.misawa.co.jp/corporate/news_release/2023/0306/)

* この件に関する問い合わせ先 *

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 / E-mail : koho@home.misawa.co.jp